

第14回 軽金属女性未来賞

軽金属女性未来賞は、軽金属分野において学術研究または技術開発に顕著な功績をあげ、将来の活躍が期待される女性研究者または女性技術者に贈る。



田中 智子 君
(株式会社
アーレスティ)

田中 智子 君は、株式会社アーレスティに入社後、女性初の鋳造現場研修後、株式会社アーレスティ独自工法であるNI法の技術開発と量産化に携わった。その後、鋳造CAE業務に従事し、量産設計段階での鋳造CAE活用の仕組み作りをはじめ、解析予測技術の向上に向けた活動を進めてきた。

ダイカスト鋳造において、充填中の空気の巻き込みは湯境・湯じわ等の融合欠陥につながり、解析予測精度を向上させることは、鋳造CAEにとって大きな課題である。この解決のために、水モデル実験や量産中の詳細な製品分析を実施しながら、CAEの精度向上と予測手法に関する研究を行ってきた。これら業績は、論文、学会発表で報告されており、当該分野の研究者および技術者より高い評価を受けている。また、多くの研究者や技術者と意見を交わすことにより、積極的に研鑽を積んでいる。

さらに最近注目されている粒子法のダイカスト鋳造解析への適用や欠陥予測適用の研究を進めており、今後のCAE技術の発展に対する活躍が大いに期待される。

以上のように、同君はアルミニウムダイカストのCAE技術の向上に関する学術的研究に多大な業績をあげており、その研究並びに取り組む姿勢は、今後さらなる発展と活躍が期待され、軽金属女性未来賞を受賞するにふさわしく、理系分野で働く女性研究者のロールモデルとなり得る人物である。